

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)15道路新設改良費

◎道路新設改良の経費

道路新設改良事業	【	道路整備課	】
----------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び電線類の地中化により、都市景観等の生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

- (1) 道路新設改良事業
 - ・市道032-000号線(小町通り)の電線共同溝工事を委託し、実施した。
 - ・市道008-000号線(今小路通り)の道路改良工事を実施した。
 - ・市道001-000号線(小町大路)の道路改良工事を実施した。
- (2) 浸水対策事業
 - ・稲村ガ崎一丁目7番先の浸水対策関連工事を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

電線類の地中化(5-4-2-②)
道路の拡幅・改良(5-4-2-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
248,190	212,690	182,526		30,164
主な支出内訳				
・ 道路新設改良事業				
小町通り電線共同溝工事委託料(小町一丁目5番 先) 管路及びマンホールの整備(70m区間) 家屋調査及び修正設計 外				44,948
今小路通り道路新設改良工事請負費(御成町19番 先) アスファルト舗装工 A=2,259㎡、薄層カラー舗装工 A=130㎡ 排水工 L=101.8m				46,892
小町大路道路新設改良工事請負費(小町二丁目19番 先) ロードアスファルト舗装工 A=1,465㎡、薄層カラー舗装工 A=487㎡ 排水工 L=590m				38,325
小町通り電線共同溝工事に伴う支障物件移転補償金 ガス及び水道				43,676
小町通り電線共同溝既存ストック購入費				973
・ 浸水対策事業				
浸水対策関連工事請負費(稲村ガ崎一丁目7番 先) アスファルト舗装工 A=134㎡ 排水工 L=134.7m				7,245
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,000
・ 地方債				121,000

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-14 道路新設改良事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	332 道路新設改良事業					
		1344 浸水対策事業					
主管課	道路整備課		関連課				
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	人と環境にやさしい道路網の整備及び道路環境の整備						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	182,526千円	92,928千円	42,679千円			
	(国・県)	1,000千円	43,000千円	27,854千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	181,526千円	49,928千円	14,825千円			
	人員配置数	2.1人	2.3人	1.6人			
	人件費	19,693千円	23,121千円	15,593千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	202,219千円	116,049円	58,272円			
	市民1人当 りの経費	1,146円	660円	333円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
生活道路の整備率	◎	目標値	15%	20%	25%	30%	100%
		実績値	20%	34%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
小町通りの電線類の地 中化事業率	○	目標値	5%	20%	50%	80%	100%
		実績値	5%	15%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ※現時点では調整可能な遅れではあるが、実施内容等の調整事項や時間を要する作業が多く、年度内に予定された全ての作業の完了には至らなかった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ※定期的に関係機関を召集し、調整会議を開催するなどの対応を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ※住民等の計画全体に対する理解は得られたものの、私権を有する部分においては、いまだ理解を得るに至っていない。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ※引き続き、事業内容については十分説明し、実施に向け理解を得られるよう努める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	現状のまま継続するが、道路環境の整備・改善は、安全で快適な市民生活を確保するために重要な事業であり、積極的に推進する。				
担当課長氏名:		道路整備課長 坂巻龍馬			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	現状のまま継続しつつ、効率的かつ着実に業務を実施する。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		